



# みちくさ

2017. 1. 11 No. 36

## 大晦日に

紅白歌合戦の出演を SMAP に打診していたのに、最後まで叶わなかったと、そんなニュースが新聞紙面を賑わしているほど、「なんか妙に日本も平和だな」と思っていた大晦日。私は今までほとんど紅白に関心がなかったのですが、酔い冷ましにたまたまつけた TV では、華やかなステージが続いていました。ロンドンからの中継が入っていて、宇多田ヒカルが歌っている姿を久しぶりに見ました。歌の解説があり、朝ドラで毎日流れていた「花束を君に」という歌が、彼女の母である藤圭子さんへの鎮魂歌であったことをその時初めて知りました。「えっ？」と思い、慌てて歌詞をネットで探してみました。何気なく聞いていた時には、「恋人に花束を贈る」程度の認識でしかなかったのですが、よく言葉を吟味して聞いていると、複雑な彼女の心境が綴られているようで、なんか胸が切なくなってきました。死化粧を施した母との対面、最後に何か一言、言って欲しいと泣きずがる彼女の姿を想像してしまいました。元々、NHK の朝ドラのために書き下ろした歌だったようですが、さらっとしたメロディーの中に、淋しさが滲んでくるようです。とても名曲だと思います。

Fantôme (フランス語で幻、気配という意味だそうです) というアルバムに入っているのですが、久しぶりに聞いてみて、とても心が癒されました。

## 新春初日の出を詣でる

毎年恒例になっている体育振興会主催の「青葉山から初日の出を拝む会」へ、今年も学校を代表して教頭先生と参加してきました。去年は初めての参加で慣れていないせいも、寒くて大変だった思いをしました。

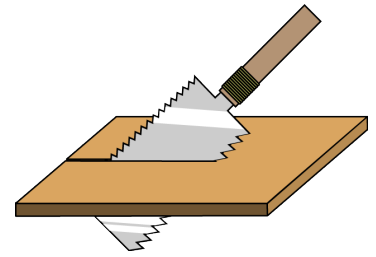
6 時集合、まだ真っ暗です。学校から青葉山まで歩いて行きます。雪が積もった場合には、登れなくて中止になります。今年は穏やかで、とってもいい条件でした。大橋を渡っている頃にはだいぶ明るくなってきました。同じように青葉山へ登る人が結構います。ジョギングで坂を登っていく人たちもいました。曇っていてどうなのかなと思っていましたが、ちょうど日の出の時間にあわせるかのように水平線の雲が途切れ、ご覧のようにお日様が顔をのぞかせてくれました。その後、土井晩翠の碑の前で「荒城の月」をみんなで歌い、山から降りて、西公園にある桜岡大神宮へ行きました。全員揃って神主さんから祝詞をあげてもらって、無事終了することができました。

こういう会が無ければ、きっと元旦の朝、早起きをして出かけることもないでしょう。今年も年の初めに参加できてよかったです。



## ものづくりの楽しさ

休みを利用して、友達が古くなった風呂場のすのこを自作すると聞きました。既製品を買わないで、敢えてヒノキを使って作ってみるのだとか。すのこそのものはそんなに難しくないのだろうけれど、微妙に傾斜がついている風呂場の床にあわせるために、板の厚みを少しずつ変えていくとのこと。今どき凝っていると思いました。考えてみる



と、こんな工作も最近あまりしなくなりました。私もかろうじてノコギリはもっていますが、カンナとかノミとなると、一般家庭ではたぶん所有もしてないのが普通でしょう。

木材加工だけでなく、金属加工なども、昔は中学の技術・家庭で教わりました。中学1年生の時、一枚の金属板を無駄なく使い、切断、折り曲げ、そしてリベット打ちをしてちりとりを完成させた時の感激は今でも忘れられません。まるで魔法かと思いました。木材加工にしても、きちんとヤスリをかけて、砥の粉を塗り、その上で着色までやりました。完成したちりとりや本ばこは、しばらく自分の部屋で実際に使っていました。

現在の教科書では、ものづくりについて、大部分がパソコンを使ったものに置き換わっています。もちろんそれも大事なのですが、昔から日本人が培って来たリアルなものづくりはどうなるのだろうと、私は危機感をもっています。のこぎりの使い方など、将来きちんと子どもに教えられなくなったら困るのかなと思います。

2020年から完全実施になる学習指導要領がまもなく告示になりますが、新しく小学校でプログラミングが取り入れられることになっています。これは、プログラム言語を学ばせるのではなく、プログラミング的な思考を学ばせるというのが主眼のようですが、どうにも諸手を挙げて喜べない気持ちがあります。次代を生きる子どもたちには当然必要なことですが、実際に手を使ったものづくりも、簡単に時数を減らしてしまっているものかどうか。パソコンの画面の中で作品を作るより、実際に手を使ってものを作ったときの方が、ぜったいわくわくすることを子どもたちに教えたいなと思います。

## 教育課題発表会

毎年、年末に教育課題発表会というものが開催され、先生方の教育実践が発表されます。近年、子どもたちの研究発表の場にもなっていて、今回は本校から3年生の栃木さやかさんが、「片平地区の植物調べと花のこうぞうの研究」を発表しました。これは、仙台市理科作品展で市長賞をいただいた研究について、改めてまとめたものです。片平地区で126種類もの植物を採集し、それをきちんと調べて分類しました。また出前講座で東北大の渡辺正夫先生から教えていただいた植物を分解して構造を調べる方法を使って、実際にツユクサやノイバラなど、数種の植物を調べて表にまとめました。3年生の研究としては大変立派なものになりました。参加いただいた大学の先生方からも褒めの言葉いただきました。

※ 東北大の渡辺先生のブログでも紹介されています。

<http://www.ige.tohoku.ac.jp/prg/watanabe/diary2/2016/12/26194453.php>